

夢物語 箕作阮甫・麟祥関係文書84 007- 001

国立国会図書館





仙臺水澤人西野長英所著

平成夢物語

此の巻乃由ゆく由ふ人泣とぬふつゝ履をど解し  
雲よりまよと又動く心音すさすくいとあすふ  
きふ相とよふ身ハあささふ眠りどやす福も机  
と寄り枕とかけて書紙捲く又巻いたく此ぬれ  
ハリつゝ目と芳と事も倦みて夢とすく幻とを  
恍惚とるあり或は招れいと清と世愛とあり  
くれハ碩学鴻儒ととなく人々數十人集會し初  
の物語し作りたり又甲の人乙の心とふ向く言  
りたりハ此其珍愛噂とすたりイキリス國のモリソ







くはニ付進取エウロツパ大社の母ニ高りてとイキ  
リス孤立して国民干戈の災域然かまぬ

文學ハ排初察物造と最とと此國ハ子枝チ方事  
此國防の嚴ゆること世界第一ト京人某云唯暗礁  
めこみゆゆと政事ハ「バル」デモナルカルト云  
其族大臣とお議權ハ君一人ニ非と云宗門ハ「ゲ」  
ホルメール「デ」イ、ルラントの方羅百宗及シ  
國人上官の人ハ學政並道ヲ言ハ未だ實踐ヲ旨  
とと賤ハ傲慢ヲして外國の人と蔑視し鬭争と好  
嗜習行り此國七五國行り區分して四十州と云

都府九百三十九

國邦ロンドンとト交々として繁昌の交々して街坊美麗  
人口稠密<sup>一五二〇</sup>人口九百万人斗も居り此海運の都合  
寫交交よりして考て法政ニ交易といふは法國は  
航海傳り石毛と云ふ人民と著殖し英人と教導して  
これと服従傳りは茲と對りりるハ和國比分の人数  
も七千四百計十四萬人とト云

航海交易の利千八百三十四年の通計ニハ六千億零  
五十万ステルリク

左りるも本國の四倍と對りト云國々の名ハ一





北アメリカと鳴りて小アメリカの西側より南  
 西側ト所々ト内地加那拿より東岸より南  
 プリツチセアメリカと補と大抵北アメリカノ  
 南半分ノニヲ保ツ  
 ニハ西印度と名けりて南アメリカと小アメリカの  
 西ノ島々あり  
 西コラン子ガムボヤゴウトイスレテワランセマ  
 へ「新ヘレナ」マスカレン「イレテラ」セテ島  
 三ハアフリカ洲の内より天竺の南西より南東  
 四ハ新和東院より南の極南より南の極南

フレイトロ子トゲルスとの新植民地ハカ「プロル  
 ン」されとト排部察那瑪尔加の系ニ又波ル杜  
 瓦余修伊斯把厄亜版とあり  
 五ハ南アメリカと名けりてブラシリイ國ゴイア子英  
 カルホルニア迄より日本の東より南東の地  
 六ハ天竺の内モゴル極南の國の内より南西羅の  
 七ハ南天竺の地より南の地  
 八ハ地最南に於て南天竺島ノ一部分よりコロマ





ンデルマラバルの一部より支那の海國伯特ラ至  
リ支那ト交易アリ

七東天竺より日本迄海軍洋の諸島に人島迄  
ふまの島ふまの島

千八百二十年迄ハ日本迄海軍三官拓也  
多くハ伊斯刺把在至ニ所ス勵活の一部ヲ  
マニ等の諸島アリ此カアウスタラリ止の内形

奈東迄形ワレスを大ニ

以上の國々より海軍人長を向け支配を仕  
之若夫の会りの舟々軍艦より一艘も右火矢は五十

の宛傳しよの道りるせり由ふり能んも舟の數々  
二万五千の百六十艘より一舟も余りの上  
人部合十七万八千六百廿十人下役人ハ四十万六千  
人の五崑崙奴炊奴亦及集め無種百万人程ハ有る  
海軍の諸大の舟も亦多し

フランゾン西ア子ハ百二十年以後迄ハ洞ロニ  
エシボイハ本也軍艦の數ハ百四十艘一  
の帆布三十二幅大旗百二十十以上印度  
軍艦百四十艘トアレハ此ニ其の體數高船  
高船左和索より七千艘アリ和索十倍ハ大ナル







乙下の説「ロントマカルト子イ」とP書ヨシコシ  
 ハイキリスヨリ支那めは名とせしむ村の記す乾  
 隆の中某年言厚蒙ホノ序ニ乾隆何年とPヨリ  
 少説アツク

加ルニ「ホルトガル」即日本の中書  
 同種ニ交易仕りしヨリイキリスの交易書少書  
 けりて自給各自この衰微とて年々少く  
 上掲の補遺は三月元分ホルトガル和京院ハ清  
 朝革命の故大知も方々く廣く地面と給り外  
 才親愛と受りとの候三月六日と信一當イキリ

スも悉く得りしれ交易おえ樹方も不宣既ハ乾隆年  
 才の末よた貸しの日増し多し其交易乃立り  
 不戸根ヲ知りし仍し和國ニ在り評議と改め其  
 廣東交易お休り方可給戸説も方々く交迫耳イ  
 リスヨリ茶殊ハ外流行仕り人々を用り依り支那  
 交易お休りし右缺乏いなり人々迷惑も其年且又  
 イキリス順字馬陸島天竺及アメリカ迄茶も多し有  
 しり得た其不支那産の多し下り不宣其上一旦  
 右百ニ合り極法山ハ此と産し不戸ハ三月交易お  
 休り事と雖も本仍て尚又評議いしり此右交易方







石取樹の傍に唐東下役人の可為りて全く五形帝の  
 云々又出りてハ喜々其考れれり身主頃嘉業帝誕生  
 方よりなるそ去誕生と賀し真知と北京へ呈りて名々  
 一使節とをへて帝へ然許仕り可然と申事又一  
 決仕りて本國の人とおぼせり口ル下マルテ子イと申  
 ことの手探りありて又仕り天文地理医術抄巻と支  
 那より未熟のやと申事熟練上達仕りとのと擇り  
 同初為仕存不關係仕書籍と勿論法器抄巻と抄述  
 一切抄巻と外支那通譯の太近と申事又副使の  
 初若一被各糧米柴肉初都合四被りて本國へ送る

至所日本領鮮へも交りて諸國王の書官おぼせり  
 由左抄巻の右より唐東交易の所子宜受と申事  
 或は取らりて唐東より西洋法園の高館オイキ  
 リス館を巨大と申事一甲の人又伺曰モリソコ  
 申事ハ若の抄巻より右より抄巻ハ乙の人日隨  
 分抄及ハハ若の抄巻ハ右ハ元オイキリスりて碩学  
 宏才の抄巻三月彼國學校の教授と撰りて持録と六  
 千石と高りて細き抄巻より右より抄巻ハ  
 コレハ右抄巻人の口碑りて所ハ「ホーグラー」ル  
 職下見りての考りて撰りての録











又急に一詭計と考ゆ 船中マテ子マルカ人数十人  
 捕至り自中と見ゆ 可ク又身替母炮礮兄合品  
 船中入りテ子マルカ玉少れと承り詭計とも存  
 乃古一甲艦と殺死に連如終合く勝利と事と事  
 又又三口を人なり其自國の若船中が有りり  
 骨肉と傷ひん俄にありり月無く兄合石火矢と放  
 不クいキリス人軍艦と送ハ進去りやあす一  
 右お格合と考えりり七西洋の風俗ハたハ敬  
 船中り自國の若子四ふりりるを慢る不敬砲不  
 只コレノミハ何れと大佐西洋の風俗也

仕事マツ知く物交イキリス日本一若く敵國と  
 謂ハ自合と終く他人マツ交  
 伊キリス浦賀ニ於て交易ありて甲比丹ヤヨサ  
 今ノ八代海防岸に立り人ノ所知と彼ヨリ不利  
 有交易ヲ防トスル  
 今波れ馬鹿人と稱し仁義と名と 然も送其りとの  
 と何もし取合不直ニ打拂ふ事ありて日本ハ民と  
 不憐不仕の國と稱し又又万一不仁不義と憤り  
 日本に迎撫ハイキリス島嶼を以て始終直に  
 たりりる七後年海口の寇とありり海軍の邪魔又







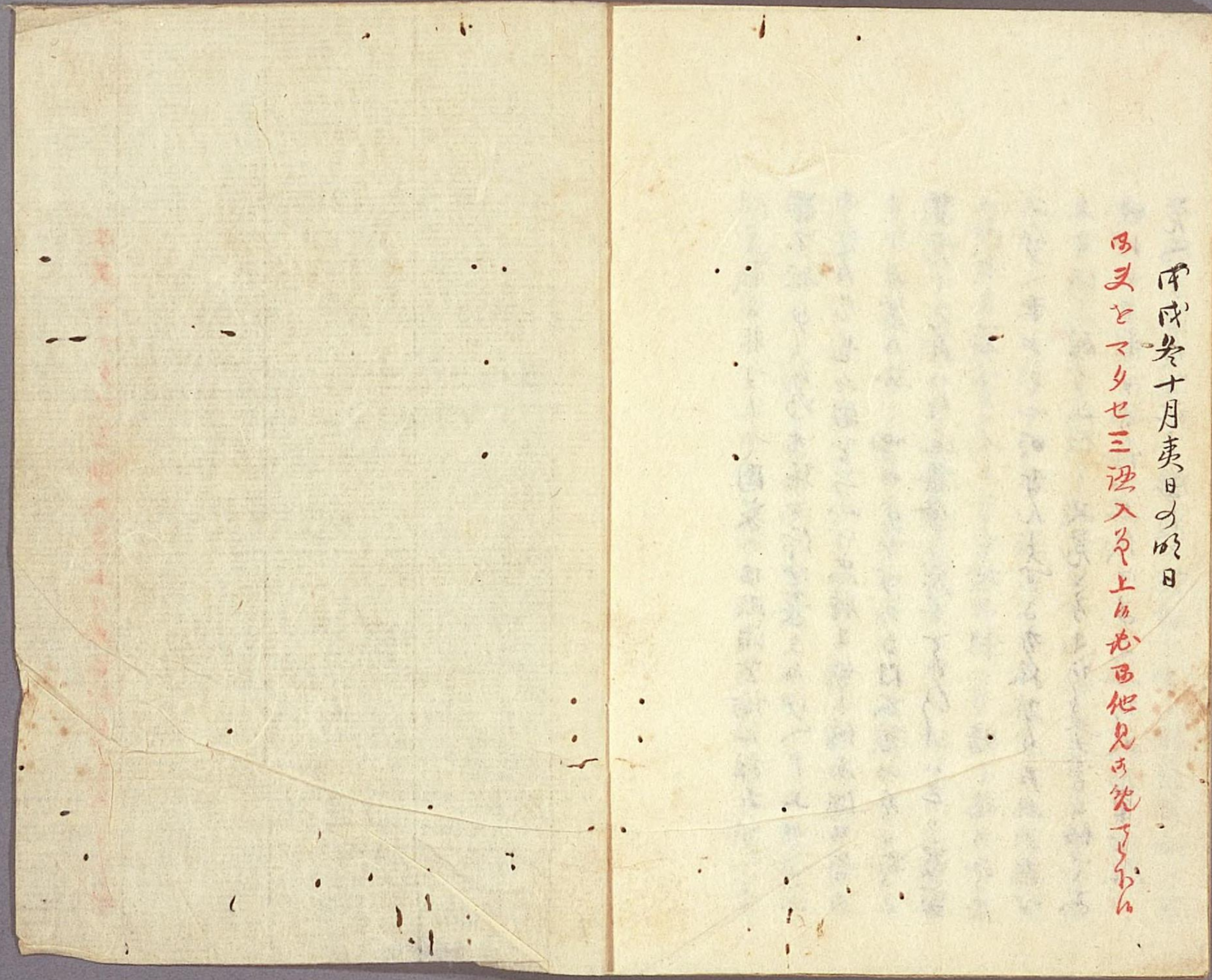


り只々彼の舟より蝦夷の駿動と生る國家幾多の事  
 物入とて愈々此度のモリソンハ通る後東へ其在り  
 上平艦許支配仕り殊小日本通海居島多魯西亞  
 上甘ノフの終ニハ終る非法の所及扱方りて後毎  
 少のりり患害多し其実少くも身在る當又此度  
 徳流人と唱りの舟方蠢愚の若くもや但しハ又佳年  
 リニ支方りも若くも不洋何依は度モリソンが  
 所城に在るハ尋常の事とわすれぬ但し右ノ上の  
 候も方今文略の馬代明君賢お上り候し馬良策と  
 為在り候ハ上り通ハ終るに玉愚に我偏と憚り

以て職ニ非ずして國家の世政治と論ル程に多し  
 罪不輕しこれ為る強作と蒙り候し上り候る事  
 所辨んを是れ國と云ふの忠膽と云ふ候深き答め  
 と小月爰に候と吃らりとする日本折の事と云ふ  
 夢覺て見れば此道集舎の序と云ふ候ハ己の寢室  
 なる我ニ對する人としりて燈の影に暗く鶏の鳴  
 み付く事と云ふ明なんとする方候なり左思古者す  
 る又此と醒るふ似く又覺るる又何す夢と似て志  
 のゆめと非ず奇怪と思候る事あり候れハ夢と寐り  
 覺てする事と記し候

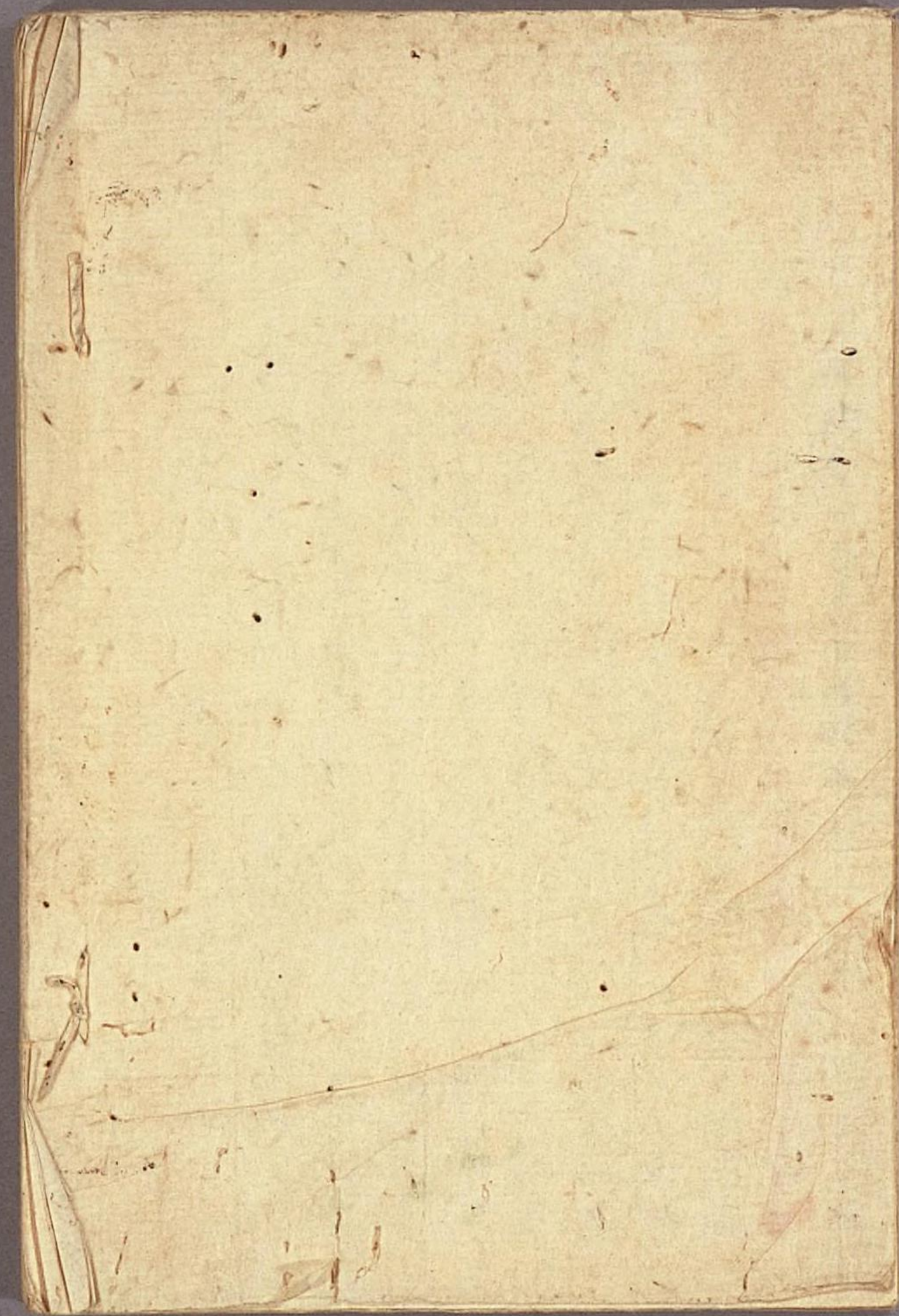






中成卷十月庚日  
 又とマ夕セ三  
 入る上は  
 他見可  
 筑了  
 了





夢物語 箕作阮甫・麟祥関係文書84 007- 018

国立国会図書館

